



シルバーが3年連続人気ナンバーワンの車体色

PPG インダストリーズ社が発表

2003年12月10日

デニムブルー、モスグリーンとシルバー系レッドが2007～2008年に新登場

ミシガン州トロイ、12月10日/PRNewswire

2003モデルイヤーに北米地区で最も人気のある車体色は3年連続でシルバーとなったことが、PPG インダストリーズ社が毎年全世界で実施している人気色調査によって明らかになった。同社は、世界有数の自動車用塗料メーカーである。

総合的には、2003モデルイヤーに北米地区で製造された車両の塗装色として、シルバーが24%で最も人気が高かった(前年22%)。全世界での車体色についてもシルバーが人気ナンバーワンで、2003モデルイヤーは29%を占めた。

また高級車部門でもニュートラルカラーの1つであるシルバーが、ナチュラルカラーのシャンペン、ゴールドや薄めのブラウンやオレンジを抜いて24%でトップとなり、トラック部門でも根強い人気のホワイトと21%で肩を並べた。

「新たな千年紀の最初の10年間はシルバーが主導権を握ると考えられます。この色は洗練され、ハイテク感があり、車両のデザインを際立たせることができます。また、コーティング技術の進歩によってシルバー系の新色が創り出されることによって、ここ数年間はシルバーの人气が続くと思います。」こう語るのは、PPGの自動車塗料部門グローバルデザイン&カラーマーケティング担当マネージャーのローレン・C・ベッチャーだ。

また、2007-2008モデルイヤーには、シルバーにブルーやゴールドの色味が加わることで色の複雑さが増し、きめのさまざまなメタルフレイク顔料が添加されることでキラキラ感も加わる、とベッチャーは語る。

今回、PPGが実施した調査では、2003モデルイヤーに北米地区で製造された車両の16%がホワイトを中心とする塗色、14%がレッドを中心とする塗色で、この傾向は2002モデルイヤーと同じだった。ブラックは前年の10%から13%へと人気を伸ばし、それに続くのがナチュラルカラー各色とブルーで、それぞれ11%だった。グリーンは7%で、そのほかのニッチ色や特殊色は2002年と変わらず4%だった。

また世界レベルでの人気色トレンドとしては、2003モデルイヤーに世界で2番目に人気の高い色はホワイトで19%だった。次いでブラックが13%、ブルーが11%。全世界で製造された車両の10%はレッドを中心とする塗色で、グリーンとナチュラルカラー各色が7%、ニッチ色や特殊色は4%となった。



2007-2008 モデルイヤーに登場する新色

PPG のグローバルデザイン&カラーマーケティングチームは、北米、日本、ヨーロッパ、南米、インド、オーストラリア、マレーシア、台湾、韓国、中国の 20 人以上のカラーデザイナーによって構成されている。今回は、自動車メーカー向けに 2007-2008 モデルイヤーの新色 152 色を開発した。

「今後数年間、北米地区では、将来を楽観する人々の思いを反映したデニムブルー、シルバー系レッド、ブルーバイオレット系レッド、モスグリーンといった光り輝く色やより鮮やかで明度の高いイエローやオレンジで塗装された車両の登場が予想されます。」ベッチャーは、こう付言する。

また PPG の予想では、北米地区での新色にはさまざまな特殊効果技術が用いられ、色に魅力が加わるとされる。

「新しい特殊効果顔料やさまざまな大きさのメタルフレーク顔料やアルミフレーク顔料を使用することで、質感や深みのある色が作り出されるのです。ナチュラルカラーやニュートラルカラー同士の微妙な組み合わせによるマルチカラー（見る角度によって色が変わる特殊色）の人気も高まることが予想されます。」こう語るのは、PPG の自動車塗料部門の北米地区カラーデザイン担当マネージャーのジェリー・R・ケーニグスマークだ。

PPG のグローバルデザイン&カラーマーケティングチームは、全世界のデザインやカラートレンド関連の団体に参加し、最新技術を理解し、社会やライフスタイルの動向や各地域での影響を分析することで、最先端のカラートレンドを自動車メーカー各社に提案し、その各種車両のブランド・アイデンティティやブランドイメージを高めることを目指している。

PPG では、過去 20 年以上にわたって新色と最新技術情報を追い続け、その成果を全世界の自動車メーカーに提供してきている。今年度の調査で PPG は、世界 22 社ほどの自動車メーカーを調査対象とし、カラートレンドのデータを集約した。PPG は、車体色以外にも航空宇宙用塗料、アフターマーケット用塗料、建築用塗料、一般工業用塗料、ガラスや汎用塗料製品のカラートレンド形成にも助力している。

同社は、1927 年以来、装飾用塗料と保護用塗料の技術革新、そして塗料が環境に及ぼす影響に真正面から取り組み、自動車メーカーにおける自動車用塗料の塗装技術や塗装工程の進歩に最も大きく貢献してきた。

米国ピッツバーグに本社のある PPG は、世界有数の自動車用塗料メーカー、世界で主要な工業用塗料と容器コーティング剤のサプライヤーであり、北米で大手の建築用塗料メーカーである。このほかにも同社では、板ガラスや加工ガラス、ガラス繊維（連続ストランド）や化学品を製造している。2002 年の売上高は 81 億米ドル（約 8,900 億円）。

お問い合わせ先:

〒150-0002
東京都渋谷区渋谷2-15-1
渋谷クロスタワー13階
PPGジャパン(株)
工業用塗料部
TEL 03-3476-7015
FAX 03-5778-2557
E-mail: sales_japan@ppg.com